

# 令和7年度第2回「江戸街道関連事業者交流会」について

## 開催の目的

本交流会は江戸街道に関わる事業者が新たな視点や実務的なヒントを得て、既存事業の磨き上げだけでなく、質の高いコンテンツづくりに活かしていただくことを目的としています。事業者による実施事業の事例発表や事業継続性の高い商品造成をテーマとしたワークショップなどを通じて、他地域の取り組みやさまざまな発想に触れ、今後の事業展開に生かせる気づきを得られる場とします。

## 開催日時

日 時: 令和8年2月9日(月)13:30~16:30  
 場 所: グラントウキョウサウスタワー 41階 スカイルームB・C

## 出席者

街道関連事業に取り組む民間事業者、地方公共団体、DMO等 62名  
 (関係者: 関東広域観光機構 CMO兼プロジェクト統括、事務局次長)

## 江戸街道関連事業者交流会 プログラム

1. 関東運輸局長 あいさつ
2. 有識者 あいさつ  
 江戸街道プロジェクトアドバイザリー会議 座長 丁野 朗 氏  
 江戸街道プロジェクトアドバイザリー会議 委員 高橋 佑司 氏
3. 江戸街道プロジェクトについて
4. 一般社団法人関東広域観光機構の紹介
5. 課題解決支援メニュー及び補助金の採択に向けたポイントの紹介  
 関東運輸局より、現在の観光産業の状況、第五次観光立国推進基本計画の改訂に向けたトレンドを紹介した。また「地域観光魅力向上事業」における採択事業者の選定の観点から、採択に向けたポイントを説明し、「観光需要分散のための地域観光資源のコンテンツ化促進事業」の概要を説明した。
6. 参加事業者等による実施事業の事例発表  
 (1) 株式会社ろじこや  
 (2) はちす葉 BONSAI-Art、株式会社 ツーリンクス
7. 事業継続性の高い商品造成をテーマにしたワークショップ(ファシリテーター: 高橋委員)  
 事業継続性の高い商品造成を目指し、旅行者のJTBD(やりたいこと)を起点に、マーケットイン型の商品造成を体験していただいた。参加者の班分けについては、商品造成の思考訓練を目的としていたため、事務局により無作為に振り分けた。  
 広域連携を推進する観点から、点から線に、線から面に連携の輪が広がることも1つの狙いとして、より深い議論を行っていただくため、小グループ(4~6名)を12班づくり、ワークショップを実施した。ワークショップ後には代表して、4つの班に発表していただき、他の班の成果物についても後日共有を図った。
8. 有識者による総評(丁野座長)

## 当日の様子

局長あいさつ



関東広域観光機構の紹介



事例発表



ワークショップ



名刺交換の様子



インタビューの様子

